



青葉の森公園芸術文化ホール イベントレポート

当ホール主催の公演・講座の雰囲気みなさまに発信する「ボランティアライタース」の方によるレポートをお届けします。

EVENT REPORT

平成 29 年
4 月 16 日 [日]



亀山勝子 & 亀山法男 昭和を歌うセンチメンタルコンサート 皆様が主役歌声ホール

出演
ソプラノ・二期会会員
亀山 勝子
作・編曲・ピアノ・歌
亀山 法男

第

一部「昭和を歌うセンチメンタルコンサート」

第二部「皆様が主役歌声ホール」という、亀山勝子 & 亀山法男ご夫妻によるコンサート。会場には歌が大好きな中高年が全員集合という雰囲気でした。

第一部オープニングはお二人の軽妙なかけあいとトークで笑いを誘い、これからどんなショーが始まるのか、わくわく。「ここに幸あり」「千の風になつて」



などよく耳にする曲を楽しいおしゃべりとともに歌ってくれました。伴奏も『変幻自在の多彩な裏ワザピアノ』と紹介されるように見事なアレンジで驚きました。中でも「早春賦」の6/8拍子つながりで、数曲をメドレーで歌ったのがとても印象に残りました。声楽の基本、イタリー歌曲「ピアチェル・ダモール愛の喜び」があり声質にぴったりで素晴らしいと思いました。

第二部は昔行つたことのある「歌声喫茶」を思わせる内容で歌集片手に全員で歌いました。亀山勝子さんが舞台を降り、客席で歌っている方にマイクを向け皆さんに聞かせるのですが、堂々と歌う方が多く「素晴らしい」「いい声ですね」という感想が伴奏する亀山法男さんから聞かれとてもいい気分になりました。多彩な裏ワザピアノも健在で間奏に



演奏した曲に三番が変わってしまったというハプニングもありました。客席からのリクエストにも応え、童謡から歌謡曲まで楽しく歌うことが出来ました。最後はオンステージでソロをお願いすると男性2名が舞台上がり、「花」「見上げてごらん夜の星を」をそれぞれ歌い上げてくれました。フィナーレは全員で「ふるさと」を歌いました。次回も楽しみます。ボランティアライタースなのはな

写真/ボランティアカメラマン 松本義裕